# 実績評価書(案)

本施策は、研究評価体制及び医薬品等の研究開発を促進するための体制整備を実施している。

施策目標名

施策の概要

(施策目標XI-2-1)

厚生労働科学研究事業の適正かつ効果的な実施及び医薬品等の研究開発の促進並びに保健衛生分野の調査研究の充実を図ること

(厚生労働省27(XI-2-1))

施策の背景・枠組み (根拠法令、政府決定、 関連計画等)	厚生労働科学研究では、厚生労働行政の各分野の適切な施策立案のための科学的知見の収集・確立に関する研究を実施しているところである。特に、国際協力のための事業と密接な関係のある地球規模の保健課題、効率的かつ効果的な医療提供体制の構築に取り組むとともに、食品の安全確保、労働者の安全と健康の確保、化学物質による健康被害対策、さらには地域における健康危機管理、テロ対策、水の安全確保、生活環境における安全対策等の国民の安全確保に必要な研究を実施しているところである。したがって、厚生労働省が実施する重要な施策の展開のため、厚生労働科学研究の適切かつ効率的な実施を確保することが必要となっている。また、「社会保障・税一体改革大綱」(平成24年2月閣議決定)、「日本再興戦略」(平成25年6月閣議決定(平成26年6月改訂))、「健康・医療戦略」(平成26年7月閣議決定)及び「医療分野研究開発推進計画」(平成26年7月健康・医療戦略推進本部決定)において、日本の豊富な基礎研究の成果から革新的な医薬品・医療機器を世界に先駆けて開発することとされており、その実現に向けた体制整備を行うことが必要となっている。											
		区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		29年度要:	 求額		
			56,179,157	54,194,584	56,287,398	58,652,448	58,371,018					
	予算の	補正予算(b)	1,013,132	0	449,950	207,909						
施策の予算額・執行額等	状況 (千円)		593,116	632,345	6,601,712	8,898,830	467,920					
	(1137	合計(a+b+c)	57,785,405	54,826,929	63,339,060	67,759,187	58,838,938					
	執行	· ·額(千円、d)	57,647,431	54,680,186	62,380,543	67,450,490						
	執行率(	%、d/(a+b+c))	99.8%	99.7%	98.5%	99.5%						
関連税制						_						
	施	政方針演説等の名称	<u> </u>	年月	 月日			関係部分(概要・言				
施策に関係する内閣の重 要政策(施政方針演説等 のうち主なもの)	施政方針	針演説(安倍内閣総理	里大臣)	の開発やiPS細胞 界にイノベーション 2015/2/12 日本を「世界で最・ 一流の研究者を集 発法人制度を創り			PS細胞の臨 ーションを起 界で最もイル 兄者を集める まを創ります	「究開発機構が始動します。革新的ながん治療薬 の臨床応用などに取り組み、日本から、医療の世 を起こします。 イノベーションに適した国」にする。世界中から超 めるため、世界最高の環境を備えた新たな研究開 ます。ITやロボット、海洋や宇宙、バイオなど、経済 と戦的な研究を大胆に支援してまいります。				
701 eta 46.124	【指標1】 研究成果の活用状況 (厚生労働科学研究データベース		指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠 厚生労働科学研究及び厚生労働科学研究事業の適切かつ効率的な実施のために必要な研究評価推進事業の目標は保健医療、福祉等の各分野に係る行政施策の科学的な推進及び技術水準の向上であるが、研究の目的や成果は研究課題毎に異なるため、これらの成果を一律の測定指標で示すことは難しい。このため、「厚生労働科学研究分野における研究成果をより多く国民、社会へ還元する」という目標の一指標として、厚生労働科学研究成果を閲覧できる厚生労働科学研究データへのアクセス数を測定指標とし、目標値を前年度以上と設定した。									
測定指標	研究成果の (厚生労働科	.学研究データベース	あるが、研 難しい。 このため、 指標として	究の目的や 「厚生労働和 、厚生労働	成果は研究 科学研究分 科学研究成	党課題毎に 野における 、果を閲覧で	異なるため、 研究成果を	これらの成果をより多く国民、社	一律の測定	定指標で する」とい	示すことは う目標のー	
測定指標	研究成果の (厚生労働科	.学研究データベース	あるが、研 難しい。 このため、 指標として	究の目的や 「厚生労働和 、厚生労働	成果は研究 科学研究分 科学研究成	党課題毎に 野における 、果を閲覧で	異なるため、 研究成果を きる厚生労	これらの成果をより多く国民、社	一律の測定	定指標で する」とい	示すことは う目標の-	
<b>測</b> 正指標	研究成果の (厚生労働科	.学研究データベース	あるが、研 難しい。 このため、 指標として とし、目標(	究の目的や 「厚生労働和 、厚生労働	成果は研究 科学研究分 科学研究成	究課題毎に 野における ま果を閲覧で した。	異なるため、 研究成果を きる厚生労	これらの成果をより多く国民、社	一律の測算 会へ還元 <sup>-</sup> ·タへのアク	定指標で する」とい フセス数を	示すことは う目標の- E測定指標	
<b>測</b> 正指標	研究成果の (厚生労働科	.学研究データベース	あるが、研難しい。このため、指標とし、目標にとし、基準値	究の目的や 「厚生労働和 、厚生労働和 直を前年度 23年度	成果は研究 科学研究分 科学研究成 以上と設定	党課題毎に 野における ままを閲覧で した。 実績値	異なるため、 研究成果を きる厚生労	これらの成果をより多く国民、社働科学研究デー	会へ還元をタへのアクリー	定指標でする」といってス数を	示すことは う目標の- E測定指標	
測定指標	研究成果の (厚生労働科 (報告書)へ(	.学研究データベース	あるが、研 難しい。 このため、 指標とし、目標 とし、目標値 基準値 26年度	究の目的や 「厚生労働 、厚生労働 直を前年度 23年度 330,728 150,000以上	対果は研究 科学研究が 科学研究が 以上と設定 24年度 287,878 330,728以上	党課題毎に 野における 課を閲覧で した。 実績値 25年度 365,168 287,878以上	異なるため、 研究成果を きる厚生労 26年度 344,096 365,168以上	これらの成果を より多く国民、社 働科学研究デー 27年度 320,452 344,096以上	会へのでは、一年の測算を表へのでは、一年の測算を表へのできます。	定指標でする」といってス数を	示すことは う目標の一 を測定指標 達成	
測定指標	研究成果の (厚生労働科 (報告書)への 年度 【指標2】	学研究データベース のアクセス件数)	あ難したと目 を がいたと目 を は を は を は を は を は を は を は を は を は を は は は は は は は は は は は は は	究の目的や「厚生労働和、厚生労働和を関係を前年度」 23年度 330,728 150,000以上 対 お験験を促進	成果は研究 科学研究分 科学研究成 以上と設定 24年度 287,878 330,728以上 旨標の選定 、革るた政 行究品質な 行究品質な	で課題毎に 野にお閲 は果を した。 実年 365,168 287,878以び 287,878以び 理 薬と制を で を標体制様に を を を を を の を の の の の の の の の の の の の	異なるため、 研究厚 第 26年度 344,096 365,168以上 標値( 器等。 原定 ました。 で り の の の の の の の の の の の の の の の の の の	これらの成果を より多く国民、社 働科学研究デー 27年度 320,452	会前定病発験また点の標 年 度根 病発験また根 病野点また地 病野点	定指標でする」という する」という 主要な指標 の	示すことは う目標の を測 達 本 が報 が報 う が報 う が報 う で が も う も う り で う り で う り う う う う う う う う う う う う	
測正指標	研究成果の (厚生労働科 (報告書)への 年度 【指標2】	学研究データベースのアクセス件数)	あるい。 が、。 が、。 が、。 が、。 が、。 が、。 が、。 をと目 をは をは をは をは をは をは をい をい をい をい をい をい をい をい をい をい	究の目的や「厚生労働権、厚生労働権を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	成果は研究 科学研究分 科学研究成 以上と設定 24年度 287,878 330,728以上 旨標の選定 、革るた政 行究品質な 行究品質な	記課題毎に 野における ままた。 また。 実年 365,168 287,878以上 理 薬とし 理 薬とし整備 最 4 ないでは ないでは ないでは はいた。 はいた。 はいた。 はいた。 はいた。 はいた。 はいた。 はいた	異なるため、 研究厚 第 26年度 344,096 365,168以上 標値( 器等。 原定 ました。 で り の の の の の の の の の の の の の の の の の の	これらの成果を より多く国民、社 働科学研究デー 27年度 320,452 344,096以上 目標年度)の設 開発や、希少疾 療分野の研究開	会タ目 毎 前定 病発で この標 年 度根 病野で また乗 度根 病財で また表 で またで また表 で またで またまたで また表 で またで またまたで またまた	定指標でする」といって する」といって する」といって 主要な指標 のの総合戦	示すことは う目標の- を測 達成 ム が 手(報告	
測定指標	研究成果の (厚生労働科 (報告書)へ 年度 【指標2】 治験届出件	学研究データベースのアクセス件数)	あ難したと目 を がいたと目 を は を は を は を は を は を は を は を は を は を は は は は は は は は は は は は は	究の目的や「厚生労働権、厚生労働権を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	成果は研究 科学研究分 科学研究成 以上と設定 24年度 287,878 330,728以上 旨標の選定 、革るた政 行究品質な 行究品質な	で課題毎に 野にお閲 は果を した。 実年 365,168 287,878以び 287,878以び 理 薬と制を で を標体制様に を を を を を の を の の の の の の の の の の の の	異なるため、 研究厚 第 26年度 344,096 365,168以上 標値( 器等。 原定 ました。 で り の の の の の の の の の の の の の の の の の の	これらの成果を より多く国民、社 働科学研究デー 27年度 320,452 344,096以上 目標年度)の設 開発や、希少疾 療分野の研究開	会前定病発験また点の標 年 度根 病発験また根 病野点また地 病野点	定指標で する」と シ き き も と か き も る な り も る な り も る た る た る に る ら る 。 と う に る ら 、 り る に り る に り ま り に り に り に り に り に り に り に り に り	示 う 目 定 さ に う 川 で は こ の 標 に が 報 け に 達	
測定指標	研究成果の河(厚生書) (報告書) 年度 (報告書) 年度 (指標 2 ) 出版 ( 1 )	学研究データベースのアクセス件数) ごとの目標値 数のうち医師主導治	あ難 こ指と 基がいたと目 基年 344,096 毎い)」数 準年 主分にを 準 重野お定 値 でいした。 単年 1000では 単年 100では	究の目的や 「厚生労働」 「厚を 「クロック」 「クロ。 「クロック」 「クロ。 「クロ。 「クロ。 「クロ。 「クロ。 「クロ。 「クロ。 「クロ。	成果は研究 科学研究分 科学学とと 24年度 287,878 330,728以上 情報 第本の選 新たの質 行のの での での での での での での での での での での での での で	で課題毎に 野果た。 実年 365,168 287,878以び ・ で を標体同様 実 年 25年 25年 25年 25年 25年 25年 25年 25	異なるため、 研究の 現生 第26年 第44,096 365,168以上 標値、器た。び 事した 事した の医 事に ました。 ほここここここここここここここここここここここここここここここここここここ	これらの成果を より多く国民、社 働科学研究デー 27年度 320,452 344,096以上 ・目標年度)の設 開発や、希少疾 開発や、の研院 期・探索的臨床 27年度	会タ前定 病発験1 27は へへ日 毎 前の 難に拠標 年 度 人で この標 年 度 以根 病関点値 度 度で こので 2040で 322040で 3240で 3240	定指標でする」と する」と 主要な を の の 総事 主要な 指標 の を が を の に を の に を の に を の に を の に を の に を の に を の に に の に に の に に に に の に に に に に に に に に に に に に	示すことは う目標の き測 達 本 が報 が報 も が報 も が も う も う も う り で う り で う り う り う う う う う う う う う う	
測定指標	研究成果の河(厚生書) (報告書) 年度 (報告書) 年度 (指標 2 ) 出版 ( 1 )	学研究データベースのアクセス件数)	あ難こ指と あしの標、 基 26 がいたと目 値 度 344,096 毎 344,096 毎 344,096 第 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	究の目的や 「厚厚を 「厚厚を 「クラック」 「150,000以上」 「おかった」 「おかった」 「おかった」 「おかった」 「おかった」 「おかった」 「おいった」 「もっ。 「もっと」 「もった」 「もった」 「もった」 「もっと」 「もっ。 「もっと」 「もった」 「もった」 「もった」 「もった」 「もっし。 「もっ。 「もった」 「もった」 「もった」 「もっし。 「もっ。 「もっ。 「もっ。 「もっ。 「もっ。 「もっ。 「もっ。 「もっ	成果は研究 科学学と 24年の 330,728以上 指標 第一次 330,728以上 指標 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次	で課題 (1) では、	異なるため、 研究を 現生 26年 344,096 365,168以上 標値、器たび 標した。 26年 22 -	これらの成果を より多く国民、社 働科学研究デー 27年度 320,452 344,096以上 ・目標年度)の設 開発や、希研究院 期・探索的臨床記 27年度 31 20	会タ前定病発験目2720はでの乗年乗乗 <th>定指標で する」と シ き き も と か き も る な り も る な り も る た る た る に る ら る 。 と う に る ら 、 り る に り る に り ま り に り に り に り に り に り に り に り に り</th> <th>示 う 目 定 さ に う 川</th>	定指標で する」と シ き き も と か き も る な り も る な り も る た る た る に る ら る 。 と う に る ら 、 り る に り る に り ま り に り に り に り に り に り に り に り に り	示 う 目 定 さ に う 川	
<b>測</b> 正指標	研(ママケー) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	学研究データベースのアクセス件数) ごとの目標値	あ難こ指と	究の 厚厚を 230,728 150,000以 は験にい 23年度 300,728 150,000以 に験臨る 年の分野療 の分野療	Record	R 野果た 25 168 287,878以び ・ て まと まで 25 168 287,878以び ・ て を と し と 関	異な でする でする でする でする でする でする でする でする	これらの成果を より多く国民、社 働科学研究デー 27年度 320,452 344,096以上 ・目標年度)の設 開発や、希少疾 開発や、の研院 期・探索的臨床 27年度	一会タ前定病発験1232240定解席はな目毎前の乗に拠標の年年件件根消研の環の標年度以根病関点標度度根消研水でを大がと大上	定 すっ ま	示 う)	
<b>川</b> 正指標	研究(報 保) (報 保) (報 保) (報 保) (報 保) (4 R) (4	学研究データベースのアクセス件数) ごとの目標値	あ難こ指と	究の 厚厚を 230,728 150,000以 は験にい 23年度 300,728 150,000以 に験臨る 年の分野療 の分野療	Record	R 野果た 25 168 287,878以び ・ て まと まで 25 168 287,878以び ・ て を と し と 関	異な 研き 26 44,096 365,168以水 等「東 26 4 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	これらの成果を より多く国民、社 一 27年度 320,452 344,096以上 ・目標や、の設 開発分野索的臨床 27年度 31 20 ・目標年イス・ライス・ライス・ライス・ライス・ライス・ライス・ライス・ライス・ライス・ラ	一会タ前定病発験1232240定解席はな目毎前の乗に拠標の年年件件根消研の環の標年度以根病関点標度度根消研水でを大がと大上	定 すっ ま	示 う)	
	研(ママケー) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	学研究データベースのアクセス件数) ごとの目標値	あ難こ指と	究の 厚厚を 230,728 150,000以 は験にい 23年度 300,728 150,000以 に験臨る 年の分野療 の分野療	Record	R 野果た 2 365,168 理 医標体同 2 5 中 と関点 お閲 実 年 13 中 と関点 な 13 中 と はるず に からず 値 と は ま 年 1 で りる	異な 研き 26 44,096 365,168以水 等「東 26 4 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	これらの成果を より多く国民、社 一 27年度 320,452 344,096以上 ・目標や、の設 開発分野索的臨床 27年度 31 20 ・目標年イス・ライス・ライス・ライス・ライス・ライス・ライス・ライス・ライス・ライス・ラ	会タ前定 病発験1232240定 か臨るは つ この この この この 標 年 度 根 大大 原 は 大 原 の 標 年 度 以 人 原 の 葉の 標 年 度 以 人 原 の 標 年 度 以 人 原 の 葉の 標 年 度 り し か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	定 すっ ま O	示 う)選 手略お	
測定指標	研(ママケー) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	学研究データベースのアクセス件数) ごとの目標値	あ難こ指と基 26医ら書標基 26国選事定がいたと目準 年 4,096連野お定 値 度 22同たび。 値 研 、て標 22	究の 厚厚を 230,728 150,000以上 お治いて 23年 150,000以上 はを臨る 年 の分探 の分探 の分探 の分探 の分探 の分探 の分探 のの分探 のの分探 のののののののののの	成学科以2287,878330,728以24一层かの中央成学学上2 87,8782 87,8782 87,8782 9財年330,728以第 62 42 92 9財日日 <td>R 野果た 2 365,182 理 医標体同 2 5 中 と関点 まけり 4 3 6 5 1 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8</td> <td>異な 研き 26 344,096 365,168以 等。び 26 水 ラ報に と 26 本 グー 標 がいまた と で で で で で で で で で で で で で で で で で で</td> <td>これらの より多学研究 27年度 320,452 344,096以上 ・目標やいの的 27年度 31 20 ・目標 イバにを 第一 ・計画標数を定めている 27年度</td> <td>会タ前定 病発験232 240定 か臨るは へへ 目 毎 前の 葉 年 度根 無に拠 標 年度日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日</td> <td>定 すっ ま O</td> <td>示 う)</td>	R 野果た 2 365,182 理 医標体同 2 5 中 と関点 まけり 4 3 6 5 1 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8	異な 研き 26 344,096 365,168以 等。び 26 水 ラ報に と 26 本 グー 標 がいまた と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	これらの より多学研究 27年度 320,452 344,096以上 ・目標やいの的 27年度 31 20 ・目標 イバにを 第一 ・計画標数を定めている 27年度	会タ前定 病発験232 240定 か臨るは へへ 目 毎 前の 葉 年 度根 無に拠 標 年度日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	定 すっ ま O	示 う)	

		1	日际VX达及	生田 人 し 口	示   (八八十	・目標年度)の設					
						点となる医療機関					
【指標4】						ンフォード大学の 売き 企業人材の					
医療機器の開発拠点となる医療 機関で研修を行う者	受講生が8名であり、同等の人数を目標としたが。引き続き、企業人材の育成を幅広く進め、今後はその人数を上伸させることを目標とする。										
灰  天   で    ラで    フロ	基準値	基準値 実績値 実績値 実績値 また ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる ま						主要な指標	達成		
	26年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	30年度				
	1,660人	_	_	_	1,660人	2,000人	前年度以上	]	0		
年度ごとの目標値		_	_	_	8人	1,660人以上					
【指標5】		<u>‡</u>	旨標の選定	理由及び目	標値(水準	・目標年度)の設	定の根拠				
「医療分野研究開発推進計画」の実行状況~各省連携プロジェクト~(健康・医療戦略推進専門調査会による2015年度までの各達成目標の進捗に係る評価)(順調に進捗している/(順調に進捗している+進捗が不十分)の割合)(「現時点では評価が困難」とされたものについては母数から除く	り、すべての医療分野の療戦略推発・このため、の達成する	の施策のフ 研究開発推 進専門調査: 、健康・医療 、き成果目	ォローアップ 進計画の作 会において 戦略推進専 票(KPI)のi	プを行うことで 成及び実施 フォローアッ 専門調査会に 進捗状況の	となっており 西の推進にい プを行って における医 評価~各省	本部の下でPDCA 、健康・医療戦略 系る専門的な事項 いる。 療分野研究開発 済連携プロジェクト 標値を前年度以	推進法第 の調査を 推進計画に ~(順調に	21 条に規 任務とす。 こ定める20 こ進捗して	見定される る健康・B 015年まで		
<。)	++ >4- ++	1		/ /-	<u>.</u>		I				
※本指標は平成27年度事前分析	基準値	2055	0.455	実績値	T	0755	目標値	主要な指標	達成		
表には記載はないが、本施策の 評価を行うために必要なものとし	26年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	毎年度	-			
て、平成28年度事前分析表より設 定しているため、記載している。	100% (20/20)	-	-	-	100% (20/20)	91% (20/22)	前年度以上	0	Δ		
 年度ごとの目標値		_	_	_	_	前年度以上		1			
		J	旨標の選定	<del></del> 理由及び目	標値(水準	·目標年度)の設	<u></u> 定の根拠	<u> </u>			
「医療分野研究開発推進計画」の 実行状況~各省連携プロジェクト ~(健康・医療戦略推進専門調査 会による2020年(一部2020~ 2030年)頃までの各達成目標の	り、すべて 医療分野研 療戦略推済	の施策のフ 研究開発推 進専門調査:	ォローアップ 進計画の作 会において	プを行うこと。 成及び実施 フォローアッ	となっており Eの推進にf プを行って		推進法第 の調査を	21 条に規任務とす	見定される る健康・ <b>医</b>		
実行状況〜各省連携プロジェクト〜(健康・医療戦略推進専門調査会による2020年(一部2020〜2030年)頃までの各達成目標の進捗に係る評価)(順調に進捗している/(順調に進捗している+進捗が不十分)の割合)(「現時点では評価が困難」とされたものについては母数から除	り、すべてで 医療分野研 療戦略推済 ・このため、 部2020~2	の施策のファ 研究開発推 進専門調査: 健康・医療 2030年) 頃ま 捗している	オローアップ 進計画の作 会において 戦略推進 での達成す	プを行うことで 成及び実施 フォローアッ 専門調査会に けべき成果 E	となっており 近の推進にい プを行って における医 目標(KPI)の	、健康・医療戦略 系る専門的な事項	推進法第 の調査を 推進計画に 面~各省通	21 条に規 任務とす。 に定める20 重携プロジ	見定される る健康・医 020年(一 ェクト~		
「医療分野研究開発推進計画」の実行状況~各省連携プロジェクト~(健康・医療戦略推進専門調査会による2020年(一部2020~2030年)頃までの各達成目標の進捗に係る評価)(順調に進捗している/(順調に進捗している+進捗が不十分)の割合)(「現時点では評価が困難」とされたものについては母数から除く。)	り、すべて 医療分野研 療戦略推済 ・このため。 部2020~2 (順調に進	の施策のファ 研究開発推 進専門調査: 健康・医療 2030年) 頃ま 捗している	オローアップ 進計画の作 会において 戦略推進 での達成す	プを行うことで 成及び実施 フォローアッ 専門調査会に けべき成果 E	となっており 近の推進に けるで における医 目標(KPI)の 十進捗が不	、健康・医療戦略系る専門的な事項いる。 際分野研究開発打 の進捗状況の評価	推進法第 の調査を 推進計画に 面~各省通	21 条に規 任務とす。 に定める20 重携プロジ	見定される る健康・医 020年(一 ェクト~		
「医療分野研究開発推進計画」の実行状況〜各省連携プロジェクト〜(健康・医療戦略推進専門調査会による2020年(一部2020〜2030年)頃までの各達成目標の進捗に係る評価)(順調に進捗している+進捗が不十分)の場にでは評価が困難」とかたものについては母数から除く。) ※本指標は平成27年度事前分析表には記載はないが、本施策の	り、すべて 医療分野研 療戦略推済 ・このため。 部2020~2 (順調に進 と設定した	の施策のファ 研究開発推 進専門調査: 健康・医療 2030年) 頃ま 捗している	オローアップ 進計画の作 会において 戦略推進 での達成す	プを行うことで 成及び実施フォローアッ 専門調査会に すべき成果目 捗している	となっており 近の推進に けるで における医 目標(KPI)の 十進捗が不	、健康・医療戦略系る専門的な事項いる。 際分野研究開発打 の進捗状況の評価	推進法第の調査を推進計画に を計画に をとし、目標とし、目	21 条に規 任務とす。 に定める20 直携プロジ 標値を前:	記定される る健康・B 020年(一 ェクト〜 年度以上		
「医療分野研究開発推進計画」の 実行状況~各省連携プロジェクト ~(健康・医療戦略推進専門調査 会による2020年(一部2020~ 2030年)頃までの各達成目標の 進捗に係る評価) (順調に進捗している/(順調に進 捗している+進捗が不十分)の割 合)(「現時点では評価が困難」と	り、すべてで医療学の野野の大学では、100000~2000~2000~2000000000000000000000	の施策のファ 研究開発推 進専門調査: (健康・医療 2030年)頃ま 捗している/	オローアップ 進計画の作 会において 戦略推進専 での達成す ((順調に進	プを行うことで 成及び実施 フォローアッ 専門調査会に すべき成果目 捗している 実績値	となっており 近の推進に けるを行って における医 目標(KPI)の 十進捗が不	、健康・医療戦略系る専門的な事項いる。 原分野研究開発打 の進捗状況の評価 十分))を測定目	推進法第の調査を推進者を推進者を制力をし、目標値	21 条に規 任務とす。 に定める20 直携プロジ 標値を前:	記定される る健康・B 020年(一 ェクト〜 年度以上		
「医療分野研究開発推進計画」の実行状況~各省連携プロジェクト実行状況~各省連携プロジェクト~(健康・医療戦略推進専門調会による2020年(一部2020~2030年)頃までの各達成目標の後少に低る評価が不付のはではが不けのにでは野に進捗して、中成27年度事前分析表より設で、平成28年度事前分析表より設	り、すべてで医療、この2020~2(世別では、2020~2(世別では、26年度の2.9%	の施策のファ 研究開発推 進専門調査: (健康・医療 2030年)頃ま 捗している/	オローアップ 進計画の作 会において 戦略推進専 での達成す ((順調に進	プを行うことで 成及び実施 フォローアッ 専門調査会に すべき成果目 捗している 実績値	となっており 近の推進に付って における医 目標(KPI)で 十進捗が不 位 26年度 92.9%	、健康・医療戦略系る専門的な事項いる。 療分野研究開発打力進捗状況の評価 十分))を測定目 27年度	推進法査 (単二) (単二) (単二) (単二) (単二) (単二) (単二) (単二)	21 条に規任務とす。 に戻める20 連携値を前: 主要な指標	記定される る健康・E 020年(一 エクト以 年度 遠成		
「医療分野研究開発推進計画」の 実行状況〜各省連携プロジェクト 〜(健康・医療戦略推進専門調会による2020年(一部2020〜 2030年)頃までの各達成目標の 進捗に係る評価) (順調に進捗している/(順調に進捗している/(順調に進捗している)(「現時点では評価が困難」と 会。) ※本指標はでいては母数が高いたものにかないが、本指標はないが、まなものとしる。 ※本指標ははないが、まなものとりで、で成28年度事前分析表よりにでしているため、記載しているため、記載しているため、記載している。	り、すべてで医療、この2020~2(世別では、2020~2(世別では、26年度の2.9%	の施策のファース (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)	オローアップ 進計画の作 会において 戦略達成 で順調に進 24年度 -	プを行うことが ででである。 フォー調をはいる。 は、では、では、 は、では、では、では、 は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	となっており 近の推進に付って けって における医 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	、健康・医療戦略系る専門的な事項いる。 療分野研究開発打力進捗状況の評価 十分))を測定目 27年度 100% (28/28)	推進調 計各し 標年 度 間 毎 前年 日 毎 前年 日 毎 日 日 毎 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	21 条に規任務とす。 に戻める20 連携値を前: 主要な指標	記定される る健康・医 020年(一 エクト以 年度 遠 成		
「医療分野研究開発推進計画」の 実行状況~各省連携プロジェクト ~(健康・医療戦略推進専門調 会による2020年(一部2020~ 2030年)頃までの各達成目標の 進捗に係る評価) (順調に進捗している/(順調に進 地している+進捗が不十所 があったが、 では評価が をれたものについては母数から く。) ※本指標はでいが、なものとし く。) ※本指標はないが、まなものと で、平成28年度事前分析表より で、平成28年度、記載している。	り 医療 ・3020	の研集のフェート 一	大進会戦で(2口計に略の調24一一一一一一一一世一上一上一上一上上	プライン大学	となり を で で で で で で で で で で で で で	、健康・医療戦略系 系の場合の 原分野研究の開発が 所進捗状況の定目 27年度 100% (28/28) 前年度 で医療・ で医療・ で医療・ で医療・ でのない。 での、 での、 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。	推面標 目 毎 前 定 サ推の 進 出標 日 毎 前 定 サ推の 進 法査 画省目 値 度 以 拠 ルま査 画 画 第を 可 道目 値 度 以 拠 ル の 第を 可 道目 で また で で また で で かんし かんし で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	21 条と 32 任 全 上 上 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	記る 020ヶ年 CRA		
「医療分野・ () () () () () () () () () () () () ()	り 医療 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の 研生、 1030 10	大進会戦で順24上上上<	プライン大学	となりでは、 ででは、 ででででででででででででででででででででででででででででで	、健康・医療等の ・医療な事の ・医療な事の ・のののでは ・のののでは ・のののでは ・のののでは ・ののででででででででででででででででででででででででででででででででででで	推の 進   一	21 条と 32 任 全 上 上 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	記念 020ヶ年   でででは ここでは ロックででは では ロックでは では でき		
「医療分別では、大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	り 医療 ・3020	の 研生、 (23) (23) (23) (23) (23) (23) (23) (23)	大進会戦で(2口計に略の調24一一一一一一一一世一上一上一上一上上	プライン大学	となり を で で で で で で で で で で で で で	、健康・医療戦略系 系の場合の 原分野研究の開発が 所ので開発が (28/28) 前年年度)の設 (28/28) 前年度)の設 でPDCA でPDCA でPDCA で関連等 でのでいる。	推面標 目 毎 前 定 サ推の 進 出標 日 毎 前 定 サ推の 進 法査 画省目 値 度 以 拠 ルま査 画 画 第を 可 道目 値 度 以 拠 ル の 第を 可 道目 で また で で また で で かんし かんし で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	21 <del>ないです。                                    </del>	記る 020ヶ度 立康 年		
「医療分野研究開発推進計画」の 実行状況~各省連携プロジェクト 全(健康・医療戦略推進専門〜 2030年(一部2020年の各 会による2020年(一部2020年の各 会による2020年(一部2020年の各 達捗によるでの各 道抄しての各 道抄している/(順分を が、との がに進む、 はははいるでの はははないでの が、 での はははないでの が、 での はははないでの はないでの が、 での はない が、 の はははない での はない の はない の はない の はない の はない の はない の はない の はない の はない の はない の はない の はない の はない の はない の はない の はない の はない の との との との との との との との との との との との との と	り医療・部(と 4 26/28) ・り医療・測 4 26/28 ・ り医療・測 5 26/28 ・ りを表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表を表	の 研生、 1030 10	大進会戦で順24上上上<	プライン大学	となりでは、 ででは、 ででででででででででででででででででででででででででででで	、健康・医療等の ・医療な事の ・医療な事の ・のののでは ・のののでは ・のののでは ・のののでは ・ののででででででででででででででででででででででででででででででででででで	推の 進〜と 目 毎 前 一定 サ推の 進 目 毎 前の 神上調 計 書 年 度 一根 ク は 1 日 毎 前の オ 進調 計 標 年 年評法査 画省 目 値 度 以 拠 ル が第を の 値 度 度価 第を 可 道目	21 任 こ 注 付 に す と が は ま	記る 020ヶ度 立康 年		

#### 指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠 ・医療分野研究開発推進計画は、健康・医療戦略推進本部の下でPDCAサイクルを回すことになってお り、すべての施策のフォローアップを行うこととなっており、健康・医療戦略推進法第21 条に規定される 医療分野研究開発推進計画の作成及び実施の推進に係る専門的な事項の調査を任務とする健康・医 療戦略推進専門調査会においてフォローアップを行っている。 ・このため、健康・医療戦略推進専門調査会における医療分野研究開発推進計画に定める達成すべき 成果目標(KPI)の進捗状況の評価を測定指標と設定した。 基準値 実績値 目標値 主要な指標 達成 26年度 23年度 24年度 25年度 26年度 27年度 毎年度 【指標8】 健康 · 医療戦略推進専門調査会 【2015年度の達 による「医療分野研究開発推進計 成目標等】 画」の実行状況に係るフォロー 各達成目標の アップの結果(達成目標の進捗) 進捗に係る評 価は、妥当であ ※本指標は平成27年度事前分析 り、未達となっ 表には記載はないが、本施策の た若干の項目 評価を行うために必要なものとし を考慮しても、 全体とし 全体とし て、平成28年度事前分析表より設 前年度 研究開発全体 て、順調 て、順調 定しているため、記載している。 の評価 としては、順調 に進捗し に進捗し を上回る に進捗したもの ていると ていると 評価を と評価する。 評価す 評価す 0 得る る。 る。 【2020年頃まで の達成目標等】 各達成目標の 進捗に係る評 価は、妥当であ り、順調に進捗 したものと評価 する。 前年度の評価 年度ごとの目標値 を上回る評価を 得る

23年度

24年度

実績値

26年度

27年度

25年度

※23年度は第2期基本計画期間、24年度から27年度は第3期基本計画期間である。

	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分)③
		(判定結果)A
	総合判定	(判定理由) 全ての測定指標の達成状況が達成又は概ね達成であり、かつ主要な指標である指標2、指標6が目標を達成していること、 指標1は93%と100%以上の目標達成には至らなかったが、これは平成27年度に設立された日本医療研究開発機構に厚生労働科学研究の大宗を占める医療分野研究開発事業が移行したことが大きな要因と考えられること、 指標5~8は目標達成に向けた取組について進捗していると評価を得ていること、 以上の理由から、施策目標の達成に向けて現行の取組が有効かつ効率的に実施されていることから、 目標を達成していると判定した。
		(有効性の評価) 以下の理由により、本施策の実施は有効に機能していると評価できる。
		【指標1】 研究成果の活用状況(厚生労働科学研究データベース(報告書)へのアクセス件数)については、平成 27年度に設立された日本医療研究開発機構に厚生労働科学研究の大宗を占める医療分野研究開発 事業が移行したことが大きな要因と考えられ、これを踏まえると93%の実績値は研究成果の活用状況 が大幅に伸びていると評価できる。
		【指標2】 治験届出件数のうち医師主導治験の数については、早期・探索的臨床試験拠点整備事業(平成23年度より開始)、臨床研究品質確保体制整備事業(平成24年度より開始)等により、医師主導治験を実施できる体制の強化が図られたことによって、高い水準で推移しているものと考えられる。
		【指標3】 国際共同治験に係るものの割合は、日本主導型グローバル臨床研究拠点(平成24年度より開始)により、日本発シーズによる革新的新薬・医療機器の創出する体制を整備したこと等から増加しているものと考えられる。
		【指標4】 国産医療機器創出促進基盤整備等事業により、医療現場と企業人材が交流する仕組みが定着しつつ あるため、研修人数が増加したものと考えられる。
		【指標5~8】 日本医療研究開発機構に移行した医療分野の研究開発予算については、「医療分野研究開発推進計画」に定める目標達成に向けた取組について、同計画の実施の推進等に係る専門的な事項の調査を 任務とする健康・医療戦略推進専門調査会により進捗していると評価を得ている。
		(効率性の評価) 以下の理由により、本施策の実施は効率的な取組が行われていると評価できる。
評価結果と 今後の方向性	施策の分析	【指標1、指標5~8】 厚生労働科学研究の実施については、個々の研究について競争的な環境の下で公募を行い、提出のあった事業計画について専門家等からなる評価委員会での審議を経て採択される。これらの過程により効率化を図っている。また、「競争的資金における使用ルール等の統一について」(平成27年3月31日競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせ)等に基づき、研究者及び研究機関が研究資金を効果的・効率的に活用できるよう、所要の見直しを行うなど工夫を順次行っている。
		【指標2】【指標3】 治験実施医療機関の体制整備にあたっては、より効率的な事業の実施のため、対象医療機関の定期 的な評価を行う等、絶えず効率化を図っている。

国産医療機器創出促進基盤整備等事業の補助先の選定等に当たっては、前年度の事業実績に応じて評価を行っている等、効率化を図っている。

# (現状分析)

## 【指標1】

日本医療研究開発機構に厚生労働科学研究の太宗を占める医療分野研究開発事業が移行したという 特殊要因もあり、100%以上の目標達成には至らなかったが、引き続き厚生労働科学研究分野におけ る研究成果をより多く国民、社会へ還元することに努める。

### 【指標2】【指標3】

|効率的な治験環境の整備により、治験届出数は増加しており、治験については、一定の成果が見られ |る。

#### 【指標4】

国産医療機器創出促進基盤整備等事業の着実な実施により、研修人数は増加しており、一定の成果が見られる。

#### 【指標5~8】

医療分野の研究開発予算については、「医療分野研究開発推進計画」に定める目標達成に向けた取組について、同計画の実施の推進等に係る専門的な事項の調査を任務とする健康・医療戦略推進専門調査会により進捗していると評価を得ており、一定の成果が見られるが、引き続き目標達成に向けて努力する。

(施策及び測定指標の見直しについて)
本施策のより適切な評価のため、医療分野に係る研究開発予算について、平成28年度事前分析表より、指標5~8を測定指標と設定した。
治験の促進について、今後は、優れた基礎研究の成果をより迅速に薬事承認につなげるための取組が求められており、「健康医療戦略」(平成26年7月22日閣議決定)、「医療分野研究開発推進計画」(平成26年7月22日健康・医療戦略推進本部決定)等に基づき、質の高い臨床研究を実施するための体制整備を行っていく必要がある。
医療機器に係る研究開発の促進については、国産医療機器創出促進基盤整備等事業を通じて、前年度以上の実績が得られるよう、引き続き国立研究開発法人日本医療研究開発機構と協力して効率的・効果的に事業を進めていく。
(予算要求について)
(税制改正要望について)

学識経験を有する者の知 見の活用

「健康医療戦略」(平成26年7月22日閣議決定)

「医療分野研究開発推進計画」(平成26年7月22日健康・医療戦略推進本部決定)

「第5期科学技術基本計画」(平成28年1月22日閣議決定)

「国の研究開発評価に関する大網的指針」(平成20年10月31日内閣総理大臣決定)

「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)

「科学技術イノベーション総合戦略2016」(平成28年5月24日閣議決定)

参考・関連資料等

関連事業の行政事業レビューシート(http://www.mhlw.go.jp/jigyo\_shiwake/gyousei\_review\_sheet/2015/h26\_11-2-1.html)

厚生労働科学研究成果データベース(指標1関係)http://mhlw-grants.niph.go.jp/

第10回 健康・医療戦略推進専門調査会(指標5~8関係)http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/tyousakai/dai10/gijisidai.html 第11回 健康・医療戦略推進専門調査会(指標5~8関係)http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/tyousakai/dai11/gijisidai.html 競争的資金における使用ルール等の統一について(平成27年3月31日競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせ)

http://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/siyouruuru.pdf

大臣官房厚生科学課 担当部局名 医政局経済課 作成責任者名 大西 友弘 政策評価実施時期 平成28年6月 医政局研究開発振興課 森光 敬子